

お わ り に

本校は、平成26年度より2年間、南中学校区3校（南中学校・湯田小学校・伊勢小学校）として、日本赤十字社山梨県支部より「山梨県青少年赤十字活動研究」の指定を受け、青少年赤十字活動の理念を生かした学校教育活動、小中学校の連携、地域との連携を中心として研究を進めてまいりました。

今年度は、3校の統一研究主題「自ら課題を見つけ、課題解決に主体的に取り組む児童・生徒を育てる」～青少年赤十字活動における態度目標の理念を生かした活動の実現～を受け、研究主題を『自ら考え判断し、主体的に活動する児童の育成』～青少年赤十字の理念を生かして～を副題として校内研究を進めてまいりました。研究主任を中心に、「学習研究部会」「青少年赤十字活動部会」の2つの部会を設定し、学校教育目標である「やさしく かしこく たくましく」－ふるさと湯田を愛する子どもの育成－を目指して研究実践をおこないました。

学習研究部会では、青少年赤十字の態度目標である「気づき、考え、実行する」を学習に取り入れ、主体的に学習に取り組む児童の育成を目標に研究を進めました。具体的には「問題解決的な学習課程の工夫」「話し合い活動の工夫」について、授業実践を中心として研究を進めました。落ち着いた授業づくりを目指して学習規律を重視するとともに、基礎基本の定着を図るために、わかる授業にするための工夫への取り組みもおこないました。

青少年赤十字活動研究部会では、青少年赤十字活動の理念のもと、学校生活のすべての場面で思いやりをもち生活できる児童の育成を目指して、子どもたちの社会性の向上に取り組んできました。「委員会活動の充実」や「たてわり活動の活性化」など、子どもたちの学校生活の充実とともに、あいさつ運動や花いっぱい運動などにより、中学校や地域との連携も深めてきました。

研究主任及び各部会リーダーのもと、全教職員による検討を重ねながら研究を深め、日々の授業を中心としたきめ細かな実践を積み重ねてきました。少しずつではありますが、今年度の研究で目指した「気づき、考え、実行する」という青少年赤十字活動の理念に確実に近づいてきており、授業に取り組むようすがどの学級も大変意欲的な雰囲気になってきたことを教職員全員で実感しています。ここにささやかではありますが、この一年の本校の研究のあゆみを紀要としてまとめることができました。

最後になりましたが、本校の校内研究に対しご指導・ご助言をいただきました日本赤十字社山梨県支部、山梨県教育委員会、甲府市教育委員会をはじめとして、関係各位に心より感謝申し上げますとともに、今後も本校の教育推進のために、なお一層のご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

研 究 同 人

校 長	石 原 正 章	教 諭	齊 藤 美由紀
教 頭	佐 藤 正 人	養護教諭	大 山 陽 子
教務主任	入 倉 淳 一	事務主査	藤 卷 ひろみ
研究主任	新 田 修	図書館司書	三 神 佐和子
教 諭	中 込 ひかり	特別支援教育支援員	大 柴 恵美香
教 諭	小 林 真 弓	講 師	武 井 真 理
教 諭	山 下 英 子	講 師	原 喜代子
教 諭	中 澤 祐 輔	講 師	帯 金 郁 子
教 諭	弦 間 武		